

# 令和3年度第1回古賀市スポーツ推進審議会 会議録 (要約筆記)

【会議の名称】 令和3年度第1回古賀市スポーツ推進審議会

【日時・場所】 令和4年2月25日(金) 18:30～19:40  
リーパスプラザこが交流館2階多目的ホール

## 【審議会次第】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名
6. 概要説明及び議事
  - (1) 第2次古賀市スポーツ推進計画の進捗状況について
  - (2) 令和4年度実施予定の運動・スポーツ(身体活動)に関するアンケートの概要について
7. その他
8. 閉会

【傍聴者数】 0人

## 【出席委員等の氏名】

委員：木下忠委員(会長)、吉永春男委員(副会長)、井浦政義委員  
伊藤一哉委員、大森睦子委員、北村俊明委員、齋藤光範委員  
柴田麻衣委員、多田祐二委員、橋本洋委員

横田浩一 教育部長

事務局：生涯学習推進課 樋口武史課長、  
吉永ゆかり参事補佐兼スポーツ振興係長、安藤恵一業務主査

## 【欠席委員の氏名】

石田啓委員、薄秀治委員、門田尚之委員、中村美恵子委員  
吉田直美委員

【庶務担当部署名】 生涯学習推進課

【委員に配布した資料の名称】

- ・ 第2次古賀市スポーツ推進計画概要版（リーフレット）
- ・ 運動・スポーツに関する取組（R2～R3年度）
- ・ 令和4年度実施予定の運動・スポーツ（身体活動）に関するアンケートの概要について

【審議会概要】

1. 開会

2. 教育部長のあいさつ

3. 審議会成立の報告

4. 会長あいさつ

5. 議事録署名委員の指名

（木下会長）

議事録署名委員については吉永春男副会長にお願いしたい。

6. 概要説明及び審議

（1）第2次古賀市スポーツ推進計画の進捗状況について

【事務局による概要説明】

第2次古賀市スポーツ推進計画は平成31年3月に策定し、策定から4年目を迎えようとしている。本計画は、「こども」「成人」「環境」「地域」の4つの基本目標を掲げ、4つの基本目標を通じて本市のスポーツ推進に取り組んでいる。令和2年度から令和3年度にかけては取組展開と課題の共有化を目標として計画を推進している。東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民のスポーツに対

する機運醸成を図る取組についても基本目標の取組の一つとして実施できるよう計画していたが、令和2年2月頃から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止を余儀なくされた取組も発生している。そういった状況下で実施した令和3年度の主な取り組みについて説明する。

- ・地域型に目を向けた取組について、スポーツ推進委員主催事業で令和4年1月に、はなみ公園で凧揚げを実施した。
- ・令和3年度より古賀市部活動の在り方に関する懇談会を設置し、社会体育と部活動の連携について検討を行っている。
- ・古賀市スポーツ協会主催でオリ・パラ記念市民健康スポーツ関連イベントとして、令和3年10月～11月にかけてビーチバレーボールやスロージョギング、パラスポーツ体験を実施した。
- ・令和4年10月に古賀市公共施設予約システムを更改予定としており、クレジット決済の導入やスマートフォン上から効率的に予約ができるよう検討している。
- ・成人の運動習慣の定着化が課題となっている。

## 【審議】

(木下会長)

事務局の説明を受け、質問や意見等あれば発言いただきたい。古賀市スポーツ推進計画の基本目標の一つである「成人」における運動習慣の定着化の取組推進が課題であると事務局からの説明があったが、それについての提案もあわせて発言いただきたい。

(吉永副会長)

古賀市スポーツ協会主催の「親子で楽しくスポーツ教室」(定員50名)の参加申し込みが1週間で満員になった。若い親子で県外から古賀市に転入してきた人や、最近スポーツをしていない方も多く参加されていた。親子スポーツから親世代の成人を取り組んでいく手法も有用である。

また、成人の若者向けスポーツについて、どういったスポーツに関心があるか等を分析した上で、きっかけづくりをしていく必要がある。

(事務局)

古賀市スポーツ協会主催の「親子で楽しくスポーツ教室」の最終日

には40人以上参加されていた。コロナ禍の中ではあったが多くの親子が元気にバスケットボールをしていた。こういった状況下でも呼びかければ一定数参加されることが分かった。地域団体でも親子スポーツを取り組んでいる。市と団体で連携できるところは連携していきたい。

成人の若者向けスポーツについては、事務局で案は検討しているものの実現できずに苦慮している。企業への声掛けはしているが、まとまった人数の参加がないのが現状である。魅力的なテーマでの呼びかけについては重要であると認識はしている。

(木下会長)

「親子でスポーツ教室」についてはチラシを各小学校に配布したこともあり、昨年より参加者が増えた。広報の仕方が重要になってくる。

(吉永副会長)

オリンピック開催に伴い、古賀市スポーツ協会主催でオリ・パラ記念市民健康スポーツ関連イベントとして、ビーチバレーボールやスロージョギング、パラスポーツ体験を実施した。きっかけづくりが大切である。最初は参加者が少ないかもしれないが、継続していくことが重要であり、来年、再来年につなげる必要がある。

市ぐるみでスポーツ推進計画に基づきスポーツの課題について取り組む必要がある。行政から課題や目標について発信してもらいたい。

(柴田委員)

成人の方が運動・スポーツをするにあたり、どうしても時間がネックとなってくる。どの時間帯でも参加ができるような枠組みを構築できれば成人の運動習慣の定着化につながるのではないか。例えばオンラインやリモートを利用したスポーツ事業の開催など。

(伊藤委員)

成人における運動習慣の定着化については、「広報」と「継続」が重要であると考えている。「継続」については、同じグループでレベルの差がありすぎると、せっかく始めてもやめてしまう傾向にあるため、レベルに応じグループ分けができるような対応も必要となってくる。

(齋藤委員)

競技スポーツをしたいのか楽しんでスポーツをしたいのかニーズの把握が重要になってくる。それぞれにあったものを開催する必要がある。また、障がい者スポーツを開催するにあたっては、スタッフを集めるのにも一苦労する。

(多田委員)

身近に参加できる環境があれば参加者も増え、必然的に定着化につながると思われる。健康介護課主催のボールンピック大会では、今年度主催者が地域に出向いて実施したこともあり、参加者数が増大している。参加しやすい環境づくりを主催者側が様々な角度から分析し提供していく必要がある。

(北村委員)

自治会の中ではスマートフォンアプリを使ってウォーキングを行っていたりしている。自治会内でグループを作って目標をもって実施していくことが運動習慣の定着につながってくると思われる。また、そういった取り組みがコロナ対策にもつながってくる。

## (2) 令和4年度実施予定の運動・スポーツ（身体活動）に関するアンケートの概要について

### 【事務局による概要説明】

第2次古賀市スポーツ推進計画の計画期間は10年となっており、計画策定5年目の令和5年度に本計画の方向性を見直しを行う予定としている。見直しに先だち、令和4年度にアンケートを実施予定とし、アンケート結果をふまえた見直しを行う予定としている。次回の審議会でも事務局案を提示したいと考えている。

アンケート項目については、前回実施分との比較ができるように前回と同じアンケート項目を一定数設ける。また、第2次古賀市スポーツ推進計画の指標等に係るアンケート項目の新設、新型コロナウイルス感染拡大に伴うスポーツ活動への影響、東京2020オリンピック、パラリンピック開催終了後のスポーツ・運動に対する意識の変化等、近年の情勢等を反映したアンケート項目を新設する。

**【議事】**

(木下会長)

事務局が次回審議会にてアンケート素案を提示するので、その際は積極的な意見をいただきたい。

7. その他

(1) 部活動の地域移行について

(吉永副会長)

事務局から説明のあった今年度から設置された懇談会では、3年を目安に古賀市モデルを作成するといった話がでている。ただし、指導者の謝金や時間調整等様々な課題が山積している。

(事務局)

部活動の地域移行に関する進捗状況については、今後開催される審議会で資料を配布したい。

(2) 古賀市公共施設総合管理計画について

(事務局)

古賀市公共施設総合管理計画アクションプランでは、市民体育館について「今後10年間で廃止を含め検討」とされており、機能移転等もふまえて検討していく必要がある。今後古賀市スポーツ協会等関係団体との協議を行い、審議会にもお示しし、方向性を明らかにしていきたい。

8. 閉会

(事務局)

次回開催は6月上旬を予定している。